

# NAVIGATION

— 進路指導部便り — 第6号 2020年11月11日

## 73 回生大学入学共通テストまであと65日

発行 夢野台高等学校  
進路指導部

### 関西大学 関西学院大学

関西大学と関西学院大学といえば、本校でも人気の大学で、関西大学は直近の3年間では200人以上（延べ）、関西学院大学は同100人以上（多い年では200人以上）

が受験しています。そのような人気の大学ということで、毎年、両大学の入試担当の方をお招きし、3年生を対象に説明会を実施しています。今年は10月8日と10月29日にそれぞれの説明会を実施しました（本校のHPでも紹介済み）。大学紹介から始まり、主な内容は入試制度やその対策としての学習法などです。

では、今回は、センター試験から大学入学共通テストへと移り変わる年度ということで、共通テストを模して詳しく説明しましょう。

### 大学入学共通テスト問題にチャレンジ！

先生：では、ここでクイズです！大学は違いますが、入試に向けての学習に関して、2人の担当者のお話で共通した内容があります。それは何だと思いますか？ みんなで話し合ってください。

生徒A：関学も関大も難関大学なので、問題集を何冊も解いて、しっかりと応用力をつけて難しい問題も解けるようにしておく必要があるということだと思う。

生徒B：ばくもそう思う。勉強がよくできる受験生が集まってくるレベルの大学なので、難しい問題がバッチリ解けるようにしておかないといけないんじゃないかな。

生徒C：そうなのかなあ？そんな難しい問題が解けることが大切なのかなあ？いつも先生は、基礎力が大切だと授業中におっしゃっているけど…。

生徒A：応用力に決まっているよ！基礎的な問題じゃ、差がつかないでしょ。やっぱり、難しい問題が解けるように勉強して、他の受験生と差がつけられるように、と担当の方はおっしゃったと思うよ。

生徒C：う〜ん、納得いかないなあ…。基礎力をつけることを大切に考えて勉強しないと、応用力だってつかないと思う。授業内容をしっかり吸収して、教科書レベルの学力を確実につけることが大切だと担当の方は強調されたのじゃないかなあ。

先生：みんなそれぞれの考えを話してくれましたね。難問を解ける力が必要なのか、教科書レベルの基礎力が大切なのか…。

担当の方がおっしゃっていたのは、ズバリ、「授業の内容をしっかりと吸収して、教科書レベルの基礎的な問題を確実に解けるようにしておいてください！」ということでした。

A君やB君が言ったように、難関大学なので難問がたくさん出ると思い込んでいるかもしれませんが、実はそんなことはないんですよ。

生徒B：先生、ほんとですか？なんか信じられないんですけど…。

先生：すいぶん疑い深いなあ(笑) それじゃあ、具体的なデータをいくつか紹介するので、これらのデータからどういうことがわかるのか考えてみましょう。

### 合格ラインの平均 得点率（表1）

関西大学	文系	72%
	理系	64%
関西学院大学	文系	70%
	理系	63~65%

### 関西学院大学担当者の話（資料1）

「正答率60%をこえる基本問題が半分以上です」

関西大学の設問構成（表2）

50問×4点＝200点

正答率（％）	問題数（50）	累積数
90	3	3
80	9	12
70	11	23
60	9	32
50	5	37
40	6	43
30	3	46
20	2	48
10	2	50

生徒A：へえー、入試ってもっと高い得点を取らないといけないと思ってたけど、表1によると、文系だと約  1 %、理系だと約  2 %取れたら合格できるんだね。

生徒B：僕は、定期考査でも50点そこそこしか取れてないから、もっとがんばらなくっちゃ！入試には定期考査みたいな細かい範囲がないなあ。

生徒C：そうね。私も今からがんばるわよ！ところで、表2も興味深いわね。正答率が50%以上の問題がこんなにたくさん出るんだ。資料1も同じようなことを物語っているし。正答率が高いということは、  3 ということの意味してるね。担当の方がおっしゃっていたように授業の内容をしっかりと吸収しなくっちゃ！

生徒A：Cさんの言うとおりでね。…ん??おっと、大発見したぞ！表1と表2を照らし合わせてみなよ。関西大学文系の合格に必要な得点率は約  1 %だったよね。すると、  4 の問題にすべて正解できれば合格ラインに到達するわけだ！やはり、  5 ということがよくわかったよ。B君どう？

生徒B：そのとおりだね。先生よくわかりました。これからは授業を大切にして基礎力を確実につけられるように学習に取り組みます！

先生：みんなにわかってもらえてよかった。今の気持ちを忘れずにしっかりと学習に励みましょう！

問1 文中の  1 、  2 にあてはまる数字を答えなさい。

問2 文中の  3 ～  5 にあてはまる語句を表1、2および資料1と本文の内容に即して答えなさい。

さて、みなさん解けましたか？

とにかく 大切なことは担当者の方の言葉にある「授業の内容をしっかりと吸収して、教科書レベルの基礎的な問題を確実に解けるようにしておいてください！」そのものです。

受験勉強という勉強があるわけではありません。日々の学習の積み重ねが受験につながるだけのことです。授業中に居眠りをしているそのあなた、授業に集中していないそのあなた、今授業で学んでいることがこの先の受験につながるのですよ。今先生が説明していることが、今解いている問題が、実際の入試問題に出題されるのですよ。このことをよく理解して毎日の授業に臨んでほしいと思います。